

- 喜多方市総合計画
～きたかた活力推進プラン～
- 喜多方市教育振興基本計画
～地域を支え未来を拓く人づくりプラン～



○ 福島県幼児教育振興指針
～「遊びを創り、たくましく、共に育つ子ども」～

【幼児教育】～学びの芽生え～
○経験重視「感じる」「気付く」「工夫する」「興味をもつ」「関わる」
○遊びを通した総合的な指導
◎10の姿を念頭に置きながら、小学校以降の生活や学習の基盤となる資質・能力の育成

この違いに子どもたちが「ゆるやかに」馴染めるように、幼小が互いを理解し合おう！相互理解に基づき、指導方法を見直そう！

【小学校教育】～自覚的な学び～
○到達度重視「できるようになる」「わかるようになる」
○教材（教科書）による授業
◎10の姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼児期に育まれた資質・能力を踏まえて、教育活動を実施

5歳児

特にこの時期が重要！

小学校1年生

4・5・6・7

8・9・10・11・12

1・2・3

4・5・6・7

8・9・10・11・12

1・2・3

期待する子ども像

○自ら心を動かして遊ぶ

やってみたい

○友達や先生と話し合っていて気づく・学ぶ・深める

つなげる・深める

○お互いに刺激・協力し合っていてやり遂げる

みんなと一緒にだもっと楽しい

○新しい環境に徐々に慣れ、少しずつ友達を増やしていく

安心・わくわく

○自分らしさを発揮し、学ぶことへの興味・関心を広げる

自信・意欲

○友達と話し合いながら試行錯誤し、工夫して学習する

学びに向かう基盤

内容（共通に行う遊び・活動）

○やってみたいことを試行錯誤しながら繰り返し楽しむ
○身近な人と関わりながら興味のある遊びを楽しむ

○遊びの中で、自分の思いを実現する喜びを感じる
○友達と一緒に話し合いながら遊びや活動を進め、失敗しても次につながる経験の積み重ねを繰り返し楽しむ
・運動会
・収穫祭（芋ほり）
・クリスマス発表会

○友達や多様な人との触れ合いを楽しみながら、もっと楽しめるように工夫する

○いろいろな友達と遊ぶことを通して、協力することのよさに気付く。
・グループやクラスで役割分担のある遊び（子どもたちの主体性を阿智節に！）
○園生活を振り返り、自分の成長を自覚するとともに、友達のよさに気付く。
・「楽しかったね！○○園」（言葉やその他の方法で表現を！）

保育者も！

○期待をもちながら新しい友達と生活や学習に取り組む。
・1年生を迎える会（園で経験したことを無理なく！）
・「どきどきわくわく1年生」（安心感を引き出す関わりで！）
・縦割り活動（子ども同士の関わりを大切に！）

スタートカリキュラム
共通理解と確実な実施

○めあてに向かって、友達と協力しながら学習する。
・学習発表会
・「たのしい秋いっぱい」

他学年の担任も！

○友達と話し合いながら試行錯誤し、工夫して学習する。
・「冬を楽しもう」
・新しい1年生を招待しよう
・「1年間を振り返ろう」
・「大きくなった自分を見つめよう」

環境構成（もの・ひと・時間・空間）

○季節やこどもの興味・関心に合わせた柔軟な環境づくり

○友達・異年齢・地域など多様な人とも自然なやりとりができる環境づくりや遊びの充実

○十分に遊びを発展できる環境・遊びの発展を保障する時間、子どもの思考を持續させる空間
○園生活の楽しさ、成長を実感できる環境、小学校への期待

○安心して楽しく生活できる環境
○スタートカリキュラムに基づく無理のない時間割

○自信や意欲をもって学習に取り組む環境
・意欲を引き出す導入、成長を感じられる振り返り

○1年間の成長を実感できる場の設定
○2年生の学習や生活への意欲を高める工夫

学習形態の工夫（ペア、グループ、コの字型）

保育者・教員との関わり

○肯定的で受容的な関わり
・活動の理解者
○それぞれの思いや気付きを認め、つなげる共感的な関わり
・共同作業者
・遊びの援助者
・憧れを形成するモデル

○充実感・達成感につながる関わり
・「いいアイデアだね」
・「自分たちで工夫したんだね」
・「みんなと一緒に楽しだね」
・「小学校でも使えそうだね」

○安心感を引き出す関わり
・「園でやったことある？」
・「園と比べて違うかな？」
・「みんなができるの知ってるよ」
・「○○さんのいいところ見つけたよ」

○自信や意欲を引き出す関わり
・ほめる、認める、受け止める
・信じる、見守る、共感する

○成長の自覚を促す関わり
・1年間の成長に気づき、自信をもたせる
・進級の喜びを感じさせる場の設定

○「何でもできる1年生」として関わる ○安心して学習できる雰囲気づくり